職 員 室 だ よ り

２０２５．１０．９発行

とても暑かった夏が終わり、ようやく秋らしくなってきましたね。今年の夏は、例年になく暑い夏でした。保育所では、夏ならではの遊びを満喫しながら、熱中症にならないように室内での遊びも取り入れ、おかげさまでみんな元気に過ごすことができました。何より、よく食べ、よく寝て、よく遊ぶ子ども達ですので、健康の秘訣は、まさに食べて寝ることかと思います。

今回の職員室だよりでは、７～９月までの保育所の様子をお伝えしたいと思います。夏を過ぎると子ども達は体つきだけでなく、心もぐっと成長してきます。また、今、峰上保育所は１歳児から５歳児まで一緒に過ごしており、自然と兄弟姉妹のような関係性が生まれ、お互いに刺激となっている様子もあります。単独クラスの０歳児は、ゆったり伸び伸びと過ごし、こちらも大きな成長が見られます。子どもとの日々は、毎日が新鮮で発見がいっぱい！そんな楽しい保育所での生活を少しでも感じていただけたら幸いです。

【７月】

７月と言えば、七夕。保育所でももちろん、年中行事として計画をするのですが、ここで問題が発生します。正確には、発生させています。それは何かというと・・。絵本や紙芝居を保育士に読んでもらい、もうすぐ七夕ということはわかる子ども達。では、七夕を迎えるためには、何が必要か・・？そうです。笹です。

以前は、当たり前のように保育士が笹を手配し、子ども達が飾り付けをしていました。でも、今の保育は、自分達で考えること、工夫をすること、みんなで協力することなど『アクティブラーニング』と言われていることを大切にしていくようにしています。峰上保育所でも「飾りをつける笹はどうするの？」という話になりました。その時はすぐに答えが出なかったのですが、去年はどうしたか思い出すように話を振ると、「たいちゃんのおうちから、もらった・・」と。そこでも保育士は、あえてそのまま反応を見ました。すると、たいき君は保育士に頼まれた訳ではないのに、自分でおうちの人に聞いてきてくれました。「ぼくのうちにあるから、取りに来ていいよ」と教えてくれたたいき君。みんなに「たいちゃん、ありがとう！」と言われ、嬉しそうな笑顔を見せてくれました。たいき君もみんなの役に立てた実感が持てたかと思います。そして、たいき君のおうちの方から、「暑いから、届けるよ」とお話を頂いたのですが、今の子ども達なら問題なく歩けると判断し、自分達で歩いて取りに行きました。

大人がぽんと用意してしまえば、簡単な話ではあります。しかし、そこをあえて自分達で考え、答えを出し、実行する。これからは、いろいろなことが機械化されていく世の中になります。その中を生きていく子ども達には、自分で考え、何かを生み出せるようになっていってほしいなと思います。

７月も他の保育所との交流保育がありました。17 日には、飯野保育所のお友達が遊びに来てくれました。年長さんと年中さんで３５名もいたので、ちょっと圧倒されてしまった子ども達。でもチーム対抗のゲームをするうちに仲良くなることができました。23 日は、金谷の海浜公園プールへ行きました。現地で、金谷保育所のお友達やみなと幼稚園のお友達と会い、また、金谷の磯には飯野保育所のお友達が来ていました。お弁当を金谷保育所で食べさせてもらったのですが、峰上・金谷・飯野保育所と 3 園が一緒になり、とても賑やかなお弁当時間となりました。小さいうちから、たくさんの人と出会い、交流を持つことで、コミュニケーション力を高めていけたらと思います。

金谷の海浜公園プールは、深さが違うプールが３つあり、保育所の子ども達にはもってこいの遊び場で、とてもおすすめです。25mプールもあるので、小学生も十分遊べます。金谷の磯のすぐ脇なので、海風を浴びながら楽しい時間となりました。

25 日は、１年生を招待してのカレーパーティーがありました。年長さんが自分達で招待状を書き、当日は卒園児５名が来てくれました。朝からおもてなしのカレーを作り、準備万端。久々の再会に嬉しいやら恥ずかしいやら・・。はにかむ笑顔が見られました。１年生には懐かしいプールで遊んでもらい、一緒にカレーを食べ、つかの間の里帰りを楽しんでもらいました。『里帰り』って言葉の響きは、どこかほっこりしますね。これからも、何かの機会に『里帰り』してもらえるよう考えていきたいなと思います。

31 日には、お楽しみ会がありました。これも子ども達が企画内容を考えています。今年は、春から楽しんでいた洋服づくりがきっかけとなり、なんと『みねがみガールズコレクション　MGC』そうです！『東京ガールズコレクション　ＴＧＣ』の峰上バージョンです！子ども達手作りの洋服を着て、ファッションショーをして、展示販売をするという何とも最先端な遊びです。子ども達のアイディアに耳を傾け、大人も一緒に考えることで、次々と新しいアイディアが生まれていきます。その過程を楽しめるようになると、どんどんアイディアが出てくるようにもなります。

年長さんの女の子から始まった遊びが段々と広まり、最終的には、年少さんまでファッションショーにエントリーしていました。お客さんは職員と未満児のお友達。暗くしたホールにミラーボールがきらめき、ゴザで作ったランウェイをかっこよく歩く子ども達。懐中電灯のスポットライトを浴びて、気分はすっかりモデルさんです。いつもは恥ずかしがってしまう子も、ニコニコ参加していました。

ファッションショーのあとは、年長さんのお店屋さんがオープンしました。アイス屋さん、ヨーヨー屋さん、お菓子のつかみ取り屋さん。そして全部のお店を回ると、某ハンバーガー店のハッピーセットのように、おもちゃをもらうシステムになっていました。これを考えたのも年長さんです。自分達が経験したこと、知っていることを遊びの中に取り入れることができるようになってきて、遊びの広がりを感じました。

午後は、職員からのサプライズおやつとサプライズプラネタリウムです。おやつは、畑で収穫したじゃがいもやピーマンを使ったじゃがピザです。子ども達に大好評で、おかわり続出でした！プラネタリウムは、保育士手作りです。暗くしたホールに星や月、ＵＦＯが映し出されると「わぁ～！」と歓声が上がりました。試行錯誤しながら作った甲斐がありました。この歓声が、私達保育士のやる気になっているのかもしれません（笑）翌日には、自分達もプラネタリウムを作りたいと、画用紙やカラーセロハンを駆使して一生懸命作っていました。

始めは見様見真似であっても、それが段々と自分の物になっていくことって多いですよね。ご飯の食べ方やお箸の使い方、トイレトレーニングもそうです。挨拶や靴をそろえる、ゴミを捨てるといったことも、子どもは大人の姿をよく見ています。実は子ども達の育ちに必要なことって、日常にたくさんあるのかな・・と思います。

【８月】

７日に、竹岡保育所のお友達と一緒に金谷の海浜公園プールに行きました。竹岡のお友達とは、何回も会っているので、もう名前で呼び合えるほどの関係になってきました。竹岡には、男性保育士がいるのですが、その保育士にもすっかり慣れ、プールでもたくさん遊んでもらいました。

４月の頃に比べ、コミュニケーション力がついてきたことを感じます。子どもは順応性も高く、経験を積むことで自信もついてきます。就学前に様々な経験をして、自分に自信を持って１年生になってほしいなと思います。

まだまだ暑かった 29 日に、年長さんは保育所田んぼの稲刈りを行いました。鎌を使って、上手に刈り取ることができ、あっという間に作業を終える年長さん。「暑いね～」「でも頑張らなきゃね」と友達同士で励まし合いながら、作業を進める姿に、年長としての自覚を感じました。自分達が保育所の一番お兄さん、お姉さんだから・・という気持ちが芽生えていました。

刈り取った稲は、しばらく干してから、手作業での脱穀が始まっています。これから、手作業での籾摺りもあります。こうして手間をかけた大事なお米は、11 月の収穫祭の時に羽釜で炊いて食べる予定です。

【畑では・・】

猛暑と言われた今年の夏ですが、畑の土を足したからか、夏野菜が豊作でした！夏野菜の定番であるきゅうり、なす、ミニトマト、ピーマンはもちろん、すいか、カボチャ、ツルムラサキ。なかでも、すいかはまるで店頭で販売しているかのような大きさで、甘みも十分でした。大きなすいかを切ったときの子ども達のなんとも言えない表情が最高でした！

たくさん収穫できた野菜は、給食時に食べたり、八百屋さんごっこをしてお家に持ち帰ったりしました。意外にも、ツルムラサキをよく食べた子ども達。子どもには少し青臭いかと思うのですが、栄養満点のツルムラサキを食べられる峰上っ子。元気なはずです！これから、ツルムラサキで染め物遊びもしていきたいと考えています。

また、壊れてしまった砂場の梁を有効活用し、富津市役所保育課に在籍している用務員さんに子ども達が遊べる平均台を作ってもらいました。ベンチにもなり、子ども達のお気に入りです。

【地域の方と・・】

保育所には、毎月、絵本の読み聞かせボランティアサークル『ぬくだまり』さんが来てくださいます。子ども達は、とても楽しみにしていて、毎回、今日のお話は何だろう・・とわくわくしています。絵本の読み聞かせだけでなく、エプロンシアターや素話、パネルシアターなど、子ども達の興味関心を引くアイディアがいっぱいです。

【９月】

１日は防災の日ですね。保育所でも防災の日にちなみ、毎月の避難訓練より、少し複雑な訓練を実施しています。今年度は『保育中に震度 6 の地震が発生。保育所内に被害があり、保育継続不可。安全な場所で保護者の迎えを待つ』という設定で行いました。

子ども達は放送の指示に従い、素早く避難ができました。避難訓練は、ある意味職員のための訓練です。子ども達は、まだ、災害時に自分で身を守る術がわからなくて当然です。その時に職員はどうすればいいか？今回は、保育継続不可なので、安全な場所（園庭中央）で待機となりました。

日差しも強い午前中。子ども達に日陰を作らなくては熱中症のリスクが高まります。職員は、避難袋に入っているブルーシートで即席の日よけを作りました。地面にもブルーシートを敷き、子ども達は、そこで座って待ちます。保護者に迎えのお願いの配信をする職員、日陰を作る職員、未満児につく職員と手分けをします。子ども達は、いつもと違う様子を感じ取り、私達職員に協力してくれました。今回は、訓練ですので、長時間の待機はせず 20 分程度で終了としましたが、もしこれが長時間になったら、どうなるでしょう・・。“お腹がすく”“トイレに行きたくなる”“雨だったらどうする？”“連絡がつかない保護者がいたら？”などなど。職員が自分で気づくことが、避難訓練の大きな目的でもあると私は思っています。その気づきをもとに、対策をとることが必要なのではないでしょうか。

いつ、どこで、どんな災害が起こるかわからない今、いろいろなことを想定できるよう、常にアンテナを高くしていたいと思います。

同じく防災の日に関連して、公立保育所では食生活改善サポーターさんから、パッククッキングを教えてもらっています。今年は、昨年度と同様にカレーを作りました。広報ふっつ ９ 月号にも掲載されていますが、パッククッキングは災害時等にビニール袋を使ってできる料理です。子ども達は自分達で野菜を切り、ビニール袋に入れ、大鍋で袋ごと茹でてカレーを作りました。袋の中で出来上がるカレーに不思議そうな顔をしていましたが、いざという時のために、おうちでもこの調理法を知っておくと便利かもしれません。
（詳しくは、広報ふっつ９月号をご覧ください）

９月中旬を過ぎ、だいぶ過ごしやすくなってきたので、戸外での活動を増やしています。子ども達は、**10 月 18 日にある運動会**に向けての取り組みを楽しんでいます。これも、七夕やお楽しみ会と同様に、子ども達からの発案でいろいろ決めています。

今年、一番違うところは・・。赤組、白組ではないところかもしれません。年長さんから、**好きなこと**をやりたい！という話が出て、そこから**好きな色**にしたい・・と話が膨らみました。また、猛暑だったこともあり、室内でチーム対抗ゲームを楽しむ時間が多く、そのゲームを運動会でも楽しもう！と方向性が決まりました。そして、**好きな人**とやりたいから、おうちの人にもやってもらう！ということで、おうちの方にもたくさん参加してもらう予定です。（心と体の準備を・・）

例年ですと、未満児（0 歳児～2 歳児）は、１つか２つ参加して終了となるのですが、１歳児、２歳児は、大きいお友達と一緒に過ごす中で、何でも真似をしています。ゲームも同じようにやろうとしていて、とても微笑ましいので、小さい子向けに少しアレンジし、参加できるようにしました。子どもの持っている力ってすごいんだな・・と改めて感じます。誰かからやらされるのではなく、自分で“やりたい”と思うことが、成長の秘訣かもしれませんね。

子どもは“やりたい”というサインをいろいろな方法で出してきます。はっきり「やりたい」と言ってくれたらわかりやすいのですが、そうはいかないのが子どもです。私達は、その子がどんなサインを出してくるのか、見逃さないようにしながら、タイミングよく関われるように心がけています。

子ども達の『好き』が詰まった運動会です。どうぞ、ご家族皆さんで楽しいひと時を過ごしていただけたらと思います。また、保育所の運動会ってどんなことをしているのだろう？と興味を持たれた地域の皆さんも、顔を出して下さいね。

20 日の土曜日には、頑張っている子ども達のために、おうちの人たちが園庭整備という形で協力してくれました。峰上保育所自慢の広い園庭や畑ではありますが、草刈りが追いついていない現状があるのも事実・・。たくさんのおうちの方にご協力いただき、すっかりきれいになりました。パパ、ママだけでなく、おじいちゃんや卒園児でもある園児のお姉ちゃんまで協力してくれ、ありがたい限りです。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

夏から秋にかけても、元気いっぱい保育所生活を満喫していた子ども達です。これから、秋の深まりと共に、地域へ散歩に出かける予定です。お散歩中の子ども達に出会うことがありましたら、どうぞ声を掛けてください。地域の方と触れ合う、お話することも子ども達の育ちには欠かせない経験です。地域の皆さんにも、子ども達の成長を一緒に見守っていただけると嬉しいです。また、おすすめのお散歩スポットがありましたら、お知らせください。

職員室だよりのご感想やお気づきの点等ございましたら、下記までご連絡お願いいたします。

峰上保育所　６８－００８０　　所長　髙林めぐみ